

# 文化経済学

第9巻第1号 (通算第32号)

2012年3月

## 基調対談

20周年記念シンポジウム基調対談:グローバル時代の文化経済

近藤 誠一・福原 義春・後藤 和子 (1)

## 海外招待論文

Conceptualising Cultural and Creative Spaces

Lily Kong (12)

## 論文

伝統芸能における実演家組織の収益システム

八木 匡・白井 喜法・高島 知佐子 (23)

ライオネル・ロビンズと文化政策

—芸術行政の参与と「ロビンズ・プリンシプル」—

木村 雄一 (33)

電子書籍の文化経済学

—日本の現状と課題—

後藤 和子・柳 与志夫・太下 義之・岩本 洋一 (43)

福祉と創造のコラボレーションによるアートプロジェクト

—連鎖型プログラムの可能性—

谷口 文保 (56)

固有価値活用による価値創造型の社会的企業に関する事例研究

—郡上市のグリーン・ツーリズムを事例として—

冨本 真理子 (68)

## 研究ノート

革新自治体の文化行政から文化政策へ

野田 邦弘 (78)

アートプロジェクトによる人的協力・ネットワーク及びソーシャルキャピタルのプロアクティブ化

—あいちトリエンナーレ2010長者町会場を事例に—

吉田 隆之 (90)

アーティスト集団の「創造の場」についての考察

—「具体美術協会」の事例から—

萩原 雅也 (101)

## 書評

Victor Ginsburgh and Shlomo Weber, *How many Languages Do We Need?*

Princeton: Princeton University Press, 2011

八木 匡 (113)

井口貢編著『観光文化と地元学』古今書院, 2011年

澤村 明 (115)

タイラー・コーエン著, 浜野志保訳, 田中秀臣監訳・解説『創造的破壊』作品社, 2011年

後藤 和子 (117)

駄田井正・浦川康弘著『文化の時代の経済学入門』新評論, 2011年

阪本 崇 (120)

山本真紗子著『唐物屋から美術商へ—京都における美術市場を中心に』

晃洋書房, 2010年

鈴木 邦夫 (122)

澤村明著『文化遺産と地域経済』同成社, 2010年

澤村明著『遺跡と観光』同成社, 2011年

田中 敬文 (125)

## 地域・国際レポート

文化経済学会〈日本〉20周年記念事業 秋のシンポジウム

—文化創造の転換点を迎えて—

友岡 邦之 (126)

第1回 ACEI アジアワークショップ開催報告

河島 伸子 (129)

「文化遺産のセーフガード」に関する国際ワークショップに参加して

佐々木 雅幸 (131)

文化経済学会 〈日本〉